

御深井

桃山時代に一世を風靡した織部焼に続いて、美濃窯で生産されたやきものが「御深井」です。名称は、名古屋城内で焼かれた御深井焼と同じ釉薬を使っていることに由来すると言われています。

御深井は織部とは異なり、静かで落ち着いた美しさを持つやきものです。造形は均整のとれた左右対称で、透明度の高い釉薬が掛けられており、黄緑色から淡い青色をしています。こうした御深井の特徴は、織部に代わりやきものの新しいスタンダードが誕生したことを示しています。御深井の生産は元和年間（1615-1624）に始まったと考えられています。この頃は、茶道界のリーダーが古田織部から小堀遠州へと交替した時期でもあります。

器種は向付や花入、香炉などが見られ、向付は様々な形のものを作られました（写真右）。また、花入や香炉には印花や貼付による装飾が用いられました（写真左）。こうした装飾の特徴は、織部焼の終期頃にも見られるもので、御深井のシンプルな形状に華やかさを加えています。



御深井釉花入（元屋敷窯跡出土）



御深井釉木葉向付（17世紀）

プラザイベントガイド

文化プラザ ☎ 05711



文化プラザ

4月25日(土) 発売

TUBE LIVE AROUND 2015

デビュー30周年を迎えるTUBEが土岐市に!!
この記念の年に、ご家族・お友達・大切な方を誘って
ご来場ください。

日時 7月9日(木)
18:00開場 18:30開演

場所 サンホール

入場料 7,500円〈全席指定〉

※5歳以上のお子さんからチケットが必要です。
(5歳未満でも席が必要な場合はチケットが必要)



〔文化プラザ〕 窓口販売／ 9:00～20:30
電話受付／ 9:00～20:30(発売初日は12:00～)
※窓口で完売の場合、電話受付はありません。

〔チケットぴあ〕 発売初日／10:00～ ☎0570-02-9999 Pコード: 257-602
〔ローソンチケット〕 発売初日／10:00～ ☎0570-084-004 Lコード: 46592

